

ジャーナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)

〒101-0051 千代田区神田神保町1-18-1 千石ビル402号

電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478

メールアドレス: office@jcj.gr.jp http://www.jcj.gr.jp

年間購読料3,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



THE JOURNALIST

2016.5.25

国連決議に逆行する安倍政権

このままでは日本は報道の自由度、100位以下転落も…

「政府との親密ぶり限度超す」

4月19日に新聞労連が「社外言論活動の規制強化に反対する」とした委員長声明を出した。「外部媒体への執筆や講演などの社外言論活動を抑制する規定を新設したり、規制を強めたりする新聞・通信社が増え始めてい」とし、それは憲法21条で保障された言論・表現の自由を国民の知る権利を抑圧しかねないとして、各社の慎重な対応を求めたものだ。

また同日、国連人権理事会から委嘱を受けて、日本の「表現の自由」に関して調査するため来日していたデービット・ケイ氏が、約1週間の滞在を終えて会見に臨んだ。ケイ氏は特定秘密保護法について「改正が必要」と提言、日本の報道の自由を巡る懸念は「より深まった」と警鐘を鳴らした。



会見するデービット・ケイ氏(撮影=JCC株式会社)



藤田早苗フェロー(国際人権法博士) 記者会見した英国

エセックス大人権センターフェローの藤田早苗さん(国際人権法博士)は、ケイ報告者が離日した後の4月21日に参院議員会館で報告した。英国メディアが安倍政権と日本のメディアとの関係をどう見ているかなどを語った。

藤田さんは、まず大手日刊紙「ガーディアン」2月17日付の「政治的圧力のなか、日本のTVアンカーたちが降板」とタイトルがつけられた記事を取り上げた。

「この記事の冒頭が出色でした。もしもBBC(英公共放送)の著名なジャーナリスト3人が同時にキャスターをやめたら、英国の政治家の多くは大喜びするだろうと書いています。日本のアンカーとは、いわずと知れた古館伊知郎、岸井成格、国谷裕子の3氏です」

藤田さんは「停波発言」をめぐって、その3人を「タフに疑義を呈することで定評がある」と評価した上で、それぞれが降板に至った経緯を詳細に説明、さらに高市早苗総務相の「電波停止発言」も問題にした。これまで安倍らが行った放送局に対する数々の威圧行為の事例を挙げ、物議をかもしたのは今回が初めてではないと強調した。

藤田さんは「停波発言」をめぐって、その3人を「タフに疑義を呈することで定評がある」と評価した上で、それぞれが降板に至った経緯を詳細に説明、さらに高市早苗総務相の「電波停止発言」も問題にした。これまで安倍らが行った放送局に対する数々の威圧行為の事例を挙げ、物議をかもしたのは今回が初めてではないと強調した。

を私が教えている大学の留学生に話したところ、「信じられない」とヒツクリしていた」と紹介した。

週刊経済紙「エコノミスト」も、この件を追撃した。2月20日付の記事のタイトルは「日本でのメディアの自由、アンカーたちがいなくなった」だった。こちらは3人の降板の背景を掘り下げ、安倍政権のメディアへの懐柔や恫喝を取り上げ、その一方で大手メディア幹部は安倍首相と会食を重ねていると指摘。「政府との親密ぶりは限度を超えている」と厳しく批判している。

藤田さんは「こうも話した。『国連で世界人権宣言が採択されたのは1948年12月10日。世界人権デーにぶつかったのか、日本の秘密保護法は14年12月10日に施行。安倍政権はワザとそうしたのか、嫌がらせか、それとも無知なのかわかりませんが、国際的に評価を大きく下げた。その上『情報』の自由は基本的な人権であり、国連が関与するすべての自由の試金石」とした国連決議(46年12月14日)にも背いている。表現・報道の自由がさらに後退しているのが国境なき記者団による報道の自由度ランキングも16年は72位まで下がった。この調子では先行き日本は、ランキングが100位以下になるかもしれない」

日本社会は、もはや民主主義国家とはいえない状況に陥っているのではないのか。この問題を強く認識すべきだ。

なお、ケイ報告者は来年6月、国連人権理事会に対して、日本、タジキスタン、トルコの3国の表現の自由に関する報告書を提出する予定。

橋詰雅博

柳澤協二氏が楔を打ち込む 「集団的自衛権」が間違い

6・22島 J C J、M I C、マス九共催大集会

集団的自衛権には保守層まで含む大きな反対運動が巻き起こっている。元内閣官房長官補の柳澤協二氏に、軍事力優先の政治で平和が守られるのか、日本に求められる外交のあり方を聞く。

▼日時 6月22日(水) 午後2時～午後4時半

▼会場 月島社会教育会館ホール(地下鉄大江戸線・有楽町線「月島」下車)

▼資料代 500円(学生無料)

▼共催 J C J、マスコミ九条の会、M I C(日本マスコミ文化情報労組会議)

記者個人の言論「尊重を」

社外活動の規制強化に反対

新聞労連は4月19日、「社外言論活動の規制強化に反対する」との声明を発表した。新聞社や通信社の社員であっても、外部媒体への執筆や講演など記者個人の社外言論活動は、言論・表現の自由に基づいて尊重されるべきだと考えるからだ。

最近、社外活動を抑制する規定を新設したり、運用に幅を持たせていた規定を厳格に適用したりする動きが広がっている。北海道新聞社は昨年12月、社外活動に事前承認を求める規定を労組側に提示した。記者が職務上知り得た情報を外部執筆や講演などで発表する場合、7日前までに社に事前申請するなど定められている。社が必要と判断した場合は、発表原稿の事前提出を求めるという事実上の事前検閲も含まれていた。

問題視した北海道新聞労組は、新聞労連を通じて全国的加盟単組に同様の規定の有無や運用状況などをアンケート調査。約30組合から回答が寄せられた結果、事前提出などの規定は例がないことが分かった。労組が強く撤回を求め、編集職場で

を検討。新聞業界全体の問題として考える必要があるとの判断に至り、声明の発表を決めた。

会社側が規制強化を進める背景には、自社の記者らが外部媒体で発表した記事などによるトラブル

上個人を中傷する匿名発言を続けていた新潟日報社の支社報道部長が、懲戒処分を受ける事態も起きた。このような人権侵害につながる発言を言論の自由として許容するつもりはない。組織に所

属し、会社の名前を使って取材活動をする以上、プライバシー強化を図る狙いがあるとみられる。ネット社会が広がる中、不意な発信でトラブルを招く「ケースは、確かに増えている」。

昨年11月、ツイッター

しかし、コンプライアンス強化を求めるあまり、むやみに社外活動を規制する動きが広がることは好ましくない。言論表現の自由は、憲法21条で保障された最も重要な基本的人権の一つであり、この自由によって立つ新聞社であれば、なおさら個人の言論活動を尊重するべきだろう。

新聞労連の組合員の大

「働き者」 江草普二



付度の空気、末端に広げ現場を威圧

「付度」が感じられる。今回の熊本地震では、本州から九州を貫く中央構造線断層帯が注目され、その線上に愛媛県の伊方原発があり、鹿児島県の川内原発は延長線上にある。ところが、NHKの地震報道に、筆者が見る限り、NHK

「付度」を感じられる。今回の熊本地震では、本州から九州を貫く中央構造線断層帯が注目され、その線上に愛媛県の伊方原発があり、鹿児島県の川内原発は延長線上にある。ところが、NHKの地震報道に、筆者が見る限り、NHK

テレビ朝日「モーニングショー」(4月21日)でコメンテーターの玉川徹氏が「事故の危険に臆病なくらいの対応」を国に求めたのは対照的だ。会長の指示通りのNHKニュースだとうなる

本来のジャーナリズムはそんなものではないだろう。3・11福島原発事故では、政府・東電がメルトダウンなどの事実公表を大幅に遅らせ、被害を拡大した。その中で、NHKはE-TV特集「ネ

でもある。浅はかにも初井氏は「E-TVのような取材はやるな」と命じるも同然の指示を出した。報道に

制作者を萎縮させ、自主規制させ、政権に不都合な報道を極力抑え込もうとしている。原発以外でも、政権への付度を感じさせるニュース編成が目立つ。

5月の政治日程の焦点は、伊勢志摩サミットだが、オバマ大統領の広島訪問が加わって、安倍首相には格好の宣伝の場になった。「財政出動」を理由に消費税先送りもできるし、「未来志向」の名で「日米同盟」も強調

に?」そんなことはいい。数を取ってから、こた」と宣伝。そこで、ダブル選、もしかしたら都知事選も併せて、ガラガラポン?」いまの安倍政権の特徴は、官邸が全ての情報をつかみ、野党の動きや世論動向を計算に入れて首相の行動や政治日程を決め、ニュース材料を次々と投げてくることだ。選挙時期、公認決定、カネの配分、全てを握った政権は、官房副長

「1000人委員会」の陽子さん、しんぐるまざいず・ふぉーらむの竹内三輪さん、SEALDsの奥田愛基さんらがリレートーク。行動提起で

福山真劫さんが戦争法反対の2000万人署名が1200万筆に達したと報告。署名は6月末まで続けると表明した。(編集部)

NHK会長「即刻辞任を」

報道の大原則投げ捨て、安倍政権にべつたり



昨年11月7日のNHK包囲行動には400名が参加した。道していない。そこどころか、熊本と大分を震度5強の地震が襲った4月18日には、各地の震度を示す画面の地図から川内地区が消されていた。

だろ。熊本地震の震源域に近い鹿児島県川内原発について、政府や九州電力の発表を垂れ流すだけで、専門家の見解などは報道されないだろう。そうすると、住民の命や暮らしを危険にさらすことになりかねない。

高評価を得た。自らの被曝の危険を顧みない取材で核心に迫ったE-TVの取材は、NHKにとって掛替えのない財産であり、視点を変えれば貴重な経営資源、

挑発するかのよう、初井氏は、狡猾で陰険な計画を進める。それは自らの発言でNHK全体を恫喝し、局内に蔓延する付度の空気を末端まで広げることだ。それにより、

安倍首相のぶら下がりインタビューを流して、安倍政権にたつぷりサービ

には行かない。JCCJと放送を語る会

6月14日にはNHK前で、市民とともに大規模な抗議集会を開催し、初井退陣へ運動を強める。

河野慎二

会をはじめのキツカケとなったのは、現役の2名が新たに広告支部に加入してくれたことでした。2名は広告職場以外の方ですが、広告手法や広告

「憲法九条は世界の宝」福岡で集い

「憲法九条は世界の宝」をつたい文句にした九条の会福岡県連絡会主催の「2016年憲法記念日のつどい」(JCCJ福岡支部協賛)が5月3日、福岡市中央区天神の市民会館大ホールであった。悪天候ながら約800人

が参加。集会は2部構成で、第一部は地元の3グループによるミニコンサート、

講演で宝田明さんは11歳までハルビン(旧満州

本人(兵)に憎悪を抱いている人が多く、戦争は憎しみしか残さないと力説した。

講演の最後に宝田さんは自らが作詞した曲(沢木順作曲「私の願い」)を歌った。「守り続けよう

この日、福岡県内では北九州市と大牟田市でも「憲法記念日集会」があり、北九州市では外交評論家の孫崎享さん、大牟田市では立正大学名誉教授の金子勝さんがそれぞれ記念講演をした。(福岡支部)

クラシーの会・山口二郎

広告支部は5月17日から月1回の例会をスタートさせました。1回目は

会をはじめのキツカケとなったのは、現役の2名が新たに広告支部に加入してくれたことでした。2名は広告職場以外の方ですが、広告手法や広告

「熟成原酒の夕ガはずすな」

宝田明さんが講演



戦争の悲惨さを力説

宝をつたい文句にした九条の会福岡県連絡会主催の「2016年憲法記念日のつどい」(JCCJ福岡支部協賛)が5月3日、福岡市中央区天神の市民会館大ホールであった。悪天候ながら約800人

集会は2部構成で、第一部は地元の3グループによるミニコンサート、

講演で宝田明さんは11歳までハルビン(旧満州

本人(兵)に憎悪を抱いている人が多く、戦争は憎しみしか残さないと力説した。

講演の最後に宝田さんは自らが作詞した曲(沢木順作曲「私の願い」)を歌った。「守り続けよう

この日、福岡県内では北九州市と大牟田市でも「憲法記念日集会」があり、北九州市では外交評論家の孫崎享さん、大牟田市では立正大学名誉教授の金子勝さんがそれぞれ記念講演をした。(福岡支部)

クラシーの会・山口二郎

広告支部は5月17日から月1回の例会をスタートさせました。1回目は

会をはじめのキツカケとなったのは、現役の2名が新たに広告支部に加入してくれたことでした。2名は広告職場以外の方ですが、広告手法や広告

東京・有明に5万人

施行69年目の憲法記念日、東京では有明海公園に5万人が集まって統一集会が開かれた。昨年の戦争法反対運動を担った「戦争させない」

9条壊すな!総がかり行動実行委員会」を構成した3団体を中心に実行委員会を構成。「平和とい

1ガンに掲げた。制服向上委員会の斎藤優里彩さんの司会で高田健さんが挨拶。ゲストの第17代高校生平和大使・白鳥亜美さん、立憲デモ

クラシーの会・山口二郎

広告支部は5月17日から月1回の例会をスタートさせました。1回目は

会をはじめのキツカケとなったのは、現役の2名が新たに広告支部に加入してくれたことでした。2名は広告職場以外の方ですが、広告手法や広告

広告支部

月1回の例会再開
現役2人の加入
を契機に

広告支部は5月17日から月1回の例会をスタートさせました。1回目は

(広告支部)

事実誤認・憶測の「捏造」断定

植村隆さんの名誉毀損訴訟 札幌地裁で口頭弁論始まる

櫻井氏、「局地戦」避け「朝日」批判

韓国で生存していた元日本軍「慰安婦」の証言を記事にしたことで家族の殺害予告などの脅迫を受けた元朝日新聞記者の植村隆さん（現韓国カト



↑札幌地裁に入る植村さんと弁護団



口頭弁論を終えて司法記者クラブで会見する櫻井氏

リック大学客員教授が、記事を「捏造」と決めつけたジャーナリストの櫻井よしこ氏らを相手に損害賠償などを求めた名誉毀損訴訟の第1回口頭弁

論が4月22日、札幌地裁で開かれた。櫻井氏も出廷し、全面的に争う構えをみせた。

虚偽報道と言われても仕方がないだろう」となどと雑誌に執筆。「捏造記事」と断定する主張を繰り返した。「こんな人物に学生を教える資格があるのか」と植村さんの教員適格性も攻撃し、植村さんの社会的評価を失墜させた。

「国賊植村隆の娘を必ず殺す。何年かかっても殺す」。植村さんは意見陳述の中で15年2月、当時勤務していた北星学園大学に届いた5回目の脅迫状の一部を読み上げ、櫻井氏らを発信源とする流言によって被った脅迫被害の恐怖を訴えた。

櫻井氏が記事で「捏造」と断じる根拠は事実誤認や憶測に基づいていると指摘。被害回復には「司法の力が必要」と、訴訟

に踏み切った判断に裁判所の理解を求めた。櫻井氏も意見陳述し、慰安婦問題で「日本はいわれない非難を浴びている」「その原因を作ったのは朝日新聞で、植村氏も重要な役割を担った」との論理を展開した。

植村さんの記事について、「百歩譲って誤報であったと仮定しても、間違いを訂正しなかった。意図をもって訂正しなかったとすれば、それを捏造と評したことが間違いか」と主張。植村さんの家族が受けた脅迫に「同情を禁じ得ない」としながらも、「断固として植村氏の記事に対する評価を変えない」と述べた。

「過去の目を閉ざすものは現在に対しても盲目になる。過去の罪を心に刻まなければ和解の道はない」これは昨年5月に物故した西ドイツ（当時）ヴァイツゼッカー大統領の国会演説。戦後40年に自国の戦争責任を直視し痛切に反省、

「我々は若かりしが年をとってようやくみな過去を受け入れなければならない」と国民にも被害を

おいて国民は主権者たる天皇の臣民であり、その命令とあれば命を差し出さねばならなかつた。まさに「人民の人民による人民のための政治」を実現するための憲法を獲得したのである。

このような緊急事態のとき、「世界で一番貧しい大統領」と言われている南米ウルグアイの前大統領ホセ・ムヒカさんが来日した。ムヒカさんはいつでもどこでもノーネクタイ。好々爺のような風貌だが、2012年「リオ国際会議」（「国連持続可能な開発会議」）のスピーチで「貧乏な人とは、少ししか物をもっていない人ではなく、無限の欲がありいくらかあっても満足しない人のこと」と発言して一躍注目される存在になった。

さらに「欧米の富裕社会が持つ傲慢な消費を世界の70億、80億の人ができると思いませんか。そんな原料がこの地球上にあるのでしょうか」と問い、世界の根本問題をズバリと提起した。

また平和は現代人の義務と説き「科学が想像を絶する邪悪な道具」となる可能性に言及、産業と科学研究の軍事化を進める日本政府には警告を発し、民衆には日本国憲法という宝を放棄せず、希望をもって共に闘おうとエールを送ってくれたのである。

10日、第3回は7月29日の予定。植村さんは櫻井氏と同様に記事を「捏造」と断じた東京基督教大学の西岡力教授らも名誉毀損で訴えており、こちらは東京地裁で既に5回の弁論が開かれた。櫻井氏らに対する訴訟は被告側が東京地裁での審理を求めたため、開始まで提訴（15年2月）から1年以上を要した。

3月から韓国カトリック大学の客員教授になった植村さんは授業内容なども紹介した。授業は週に1回で、テーマは「東アジアの平和と文化」。日韓関係だけでなく、中国や北朝鮮などを含めた東アジアの動向について、韓国語で学生に教えている。ちょうど裁判前日の5月17日に授業があり、韓国の民主化運動の引き金となった光州事件（1980年）を取り上げた。しかし現在の学生は95年前後の生まれで、光州事件をほとんど知らないという。

「日本版マッカーシズム」と闘う植村氏

元従軍慰安婦である金学順さん（故人）の証言を記事にした元朝日記者の植村隆さんは5月18日、東京地裁で名誉毀損訴訟の第5回口頭弁論に

臨んだ。その後の報告集で、「慰安婦問題で私を標的にした攻撃は日本版のマッカーシズムだ」と思ふ。新たな視点で調査報道をしたい」と抱負を語った。

もう一つは97年2月に現首相の安倍晋三氏ら自民党議員が、慰安婦問題の記述など歴史教科書の見直しを求める「日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会」を結成し、安倍氏が事務局長に就いたことだ。

植村さんは「97年と98年の関係を考えないといけな。日本の歴史の大きな流れの中で、私が標的になり攻撃されている」との認識を示し、これらは歴史を掘り起こそうとする人たちを

リレー時評



JCJ代表委員 吉原功

「過去の目を閉ざすものは現在に対しても盲目になる。過去の罪を心に刻まなければ和解の道はない」これは昨年5月に物故した西ドイツ（当時）ヴァイツゼッカー大統領の国会演説。戦後40年に自国の戦争責任を直視し痛切に反省、

「我々は若かりしが年をとってようやくみな過去を受け入れなければならない」と国民にも被害を

おいて国民は主権者たる天皇の臣民であり、その命令とあれば命を差し出さねばならなかつた。まさに「人民の人民による人民のための政治」を実現するための憲法を獲得したのである。

このような緊急事態のとき、「世界で一番貧しい大統領」と言われている南米ウルグアイの前大統領ホセ・ムヒカさんが来日した。ムヒカさんはいつでもどこでもノーネクタイ。好々爺のような風貌だが、2012年「リオ国際会議」（「国連持続可能な開発会議」）のスピーチで「貧乏な人とは、少ししか物をもっていない人ではなく、無限の欲がありいくらかあっても満足しない人のこと」と発言して一躍注目される存在になった。

さらに「欧米の富裕社会が持つ傲慢な消費を世界の70億、80億の人ができると思いませんか。そんな原料がこの地球上にあるのでしょうか」と問い、世界の根本問題をズバリと提起した。

現憲法が国民を主権者にしてくれた

た。300万の国民が犠牲となり東アジアを中心とする2000万を超える民衆を殺戮した昭和の戦争はこの体制の帰結である。敗戦後、新憲法が成立

る。その中心である平和主義・戦争放棄の条項は、昭和の戦争への痛切な反省であり、東アジア諸国との和解の道を開く可能性をもつとともに、人類社会の理想

のは周知の通りである。国民は「人民による政治」をいまこそ実践しなければ、空前絶後の犠牲をはらって獲得した宝を根こそぎ失うことになる。

さらには「欧米の富裕社会が持つ傲慢な消費を世界の70億、80億の人ができると思いませんか。そんな原料がこの地球上にあるのでしょうか」と問い、世界の根本問題をズバリと提起した。

また平和は現代人の義務と説き「科学が想像を絶する邪悪な道具」となる可能性に言及、産業と科学研究の軍事化を進める日本政府には警告を発し、民衆には日本国憲法という宝を放棄せず、希望をもって共に闘おうとエールを送ってくれたのである。



東京集会で報告する植村さん

きな流れの中で、私が標的になり攻撃されている」との認識を示し、これらは歴史を掘り起こそうとする人たちを

須貝道雄

安倍政権にひれ伏す日本のメディア

マーティン・フアクラ

メディア間の対立を利用した分断統治に屈服

昨年夏まで約6年半、接近している。一方、メ...



メディア支配や、監視社会...

書評

本・BOOK・ほん

(価格は税別です)

原発棄民

原野行介

原発棄民 フクシマ5年後の真実

の原動力になっていると...

今もって住民に被曝受忍を強いる「棄民政策」の不条理を問う

福島県は昨年6月、福...

電通とFIFA サッカーに群がる男たち

田崎健太

電通とFIFA サッカーに群がる男たち

〈東京五輪招致・裏金疑惑〉その深い闇を読み解くカギがある



本書は、この疑惑を...

いま日本を揺るがして...

加えて2002年ワ...

原田宏二

警察捜査の正体

現場や組織の実態を熟知した警察批判 その深く重い指摘に耳を傾けよ



『テロリストワールド』...

本書はそうした疑問に...

5月19日、捜査手法の拡大を認める刑事司法改革の関連法案が参院法務委員会を通過した。最終的な成立は確実である。

この間、法案の内容を...

「テロ対策」振り込め...



映画の鏡

わたしはあなたの味方やで

『さとにきたら ええやん』

大阪・釜ヶ崎で生きる人たちの涙と笑いの物語



©ガーラフィルム/ノンテラコ

職員たち。職員のちが彼の家族を丸ごとサポートしている。母と離れた小学生の女子が釜ヶ崎の労働者や野宿者に夜回りをするシーンがあるが、「あつちにおおきにあげたって」とか「向こうの人最近見ないけど大丈夫かな」といって、卒業の時に「優しい言葉が聞かれる。大阪出身の重江良樹監督はこの作品がお堅い映画になるのが嫌だったの、極力説明的な要素を省こうとチャレンジしている。しかし、大人も子供も大阪弁のやりとりが抜群で、それだけで面白く、様々な問題を抱えている人たちを見事に描き出している。」

（6月中旬より、東京ポレボレ東中野にて上映）
今井潤

大阪市西成区釜ヶ崎。日雇い労働者の街と呼ばれてきたこの街で38年間続いている「さとにきたらええやん」と呼ばれるこの場所は、障害の有無や国籍の違いに関わらず、子供が無料で利用できる遊園地がある。館長は庄保供子さん。男の子は自転車が好きで釜ヶ崎を走り回っているが、お母さんが時々ライラして手を上げるのを避けるため、このさとのムードメーカ

今年11月3日に公布70年を迎える日本国憲法をどう考えるか――憲法記念日の5月3日付の朝刊各紙は恒例の「憲法社説」を掲載した。

このなかで、西日本は特異な問題提起をしている。熊本・大分地震に於いて「憲法と震災」「人間の復興」を見据えて「この見出しで憲法論を展開。『震災復興の基』。今回の震災でも既

新聞

目をひく西日本の「憲法社説」

本は憲法である――。95年の阪神大震災、11年の東日本大震災で、共通して叫ばれました」と問題を提起した後、「憲法にそうした構図が生まれ、必要に応じては、震災に名を借りた改憲は危うい」と反対している。朝日は「個人と国家とや権利よりも公益・公の

この証しであるとも言えます」と主張。これまた異例の「です、ます調」で読ませる。安倍自民党政権が「お民憲法改正草案を批判しているのは「まっとうな憲法を踏まえたものに変えることも必要としてい

これに対して読売は「憲法記念日 改正へ立憲主義を体現しよう」との見出しで、自民改憲草案に賛成、3月29日施行された違憲の「安保法制」（戦争法）にも賛成の論陣を張り、憲法に「緊急事態条項」を盛り込む必要を強調している。相変わらず「安倍首相応援団」の一員を誇示しているようだ。

産経は「憲法施行69年9条改正こそ平和の道国民守れない欺瞞を排せよ」との見出しで「中国、北朝鮮脅威論」に加え、民進党・共産党をも強く批判、安倍政権よりもさらに国家主義の主張を繰り広げる。

月間マスコミ批評

沖縄の米軍属を容疑者とする殺人事件のニュースを聞きながら、安保破棄中央実行委員会が発行するブックレット「日本の軍事費II」を読んだ。

出版

右派雑誌「WILL」で分裂騒動

集を組んだ。『第一次世界大戦開戦原因の再検討』などの編著で知られる小野塚知二氏の「武器輸出とアベノミクスの破綻」が興味深い。

小野塚氏によると、〇〇年代においても、日米の貿易関係、輸出依存、公共事業依存、経済の軍国化をもちいらしたという。アベノミクスが軍事国家をめざしているのは、投資主導型の成長戦略の実例として、イタリ

「日本は武器移転の受入国という自己認識が強い」と指摘する。アベノミクスが軍事国家をめざしているのは、投資主導型の成長戦略の実例として、イタリ

「月刊Hanada」(飛鳥新社)を出した。6月創刊号は日本共産党攻撃の特集で、「WILL」の執筆者や連載をそのまま新雑誌へ移転させている。創刊号は「サレインス」(未邦訳)や「文明」の対立ではなく、放

「創刊号は日本共産党攻撃の特集で、「WILL」の執筆者や連載をそのまま新雑誌へ移転させている。創刊号は「サレインス」(未邦訳)や「文明」の対立ではなく、放



メデイア 気象台

「創」による、編集方針の対立ではなく、放漫な「編集経費」が分裂の原因のようだ。出版不況なのに、こうした雑誌が発行できる背景やスポンサーの存在にもメスをいはずだ。 荒屋敷宏

「月刊Hanada」(飛鳥新社)を出した。6月創刊号は日本共産党攻撃の特集で、「WILL」の執筆者や連載をそのまま新雑誌へ移転させている。創刊号は「サレインス」(未邦訳)や「文明」の対立ではなく、放

「創」による、編集方針の対立ではなく、放漫な「編集経費」が分裂の原因のようだ。出版不況なのに、こうした雑誌が発行できる背景やスポンサーの存在にもメスをいはずだ。 荒屋敷宏

「創」による、編集方針の対立ではなく、放漫な「編集経費」が分裂の原因のようだ。出版不況なのに、こうした雑誌が発行できる背景やスポンサーの存在にもメスをいはずだ。 荒屋敷宏

避難なお1万人超

行政への不満 「性的被害」も

国は実効性ある支援進めよ

今年4月、熊本県を震度7の揺れが2度襲った熊本地震は、死者・不明50人、住宅の被害は8万棟以上にのぼり、小学校などや「車中泊」をする人たちは一時、20万人にも上った。発生から1カ月が過ぎたが、避難者はおお1万人を超し、体調不良を訴える人が目立つ。トイレや洗濯などの生活をめぐる問題や、国・行政の対応への不満、さらには抱きつかれたり着替えを覗かれたりする「性的被害」が多発。取材者への反発も表面化した。

14日の午後9時26分、熊本市と接する益城町を震源とする最大震度7の強烈な揺れが襲い、同県内で9人が犠牲となった。「そろそろ収まるだろう。片付けをして再建できる」と住民が楽観し始めた16日午前1時25分、最大震度7の揺れが再び襲った。「本震」のマグニチュードは16倍にもなった。1回目の震度7には持ちこたえた建物のうち、押し潰された家屋



熊本地震から1カ月超

「短歌 現代の窓」は1999年1月の第1回 俵万智の短歌、二時間でシンドレラとなる吾を前に核戦争の話などとする

「短歌 現代の窓」は1999年1月の第1回 俵万智の短歌、二時間でシンドレラとなる吾を前に核戦争の話などとする

以降、ここでは、単なる「短歌」の紹介欄などではなく、現代における「いま」を捉えた、あるいは捉えようとする作品をという視点を一貫させてきたつもりである。そのための選歌努力には毎月かなりの時間を要する

ことにもなっていたが、それは私自身にもよい勉強ともなった。

また、新聞ジャーナリズムを少し注意深く広く見ると、そこにはおもしろいものがある。各種の文芸欄である。その一つが知る人ぞ知る朝日新聞「朝日歌壇」である。新聞の長い歴史から見て

政治家の汚職などとまき多岐多層にわたる。すぐれたジャーナリズムの幅の広さである。ちなみに明治43年9月に創設の「朝日歌壇」の初代選者は石川啄木だった。啄木はこのひと月前の明治43年8月に「時代閉塞の現状」を書いた。このコラムの始まりについて

は、2005年の『証言』でつづるJCJ50年の歩みジャーナリストとして生きる』にも書き、当てあります。(編集部)

「いま」を捉える作品「貫く」

「短歌現代の窓」連載終了にあたって

差がある場所もある。復興には10年以上掛かるだろう。民間がやることには限界があり、政府は全力で復旧に当たるべきだがそうしていない」と批判する。フランスの取れた食事や良質な睡眠、口腔ケア、軽度の運動に

益城町総合体育館に避難した安倍首相だが、「見映えばかりで被災者に寄り添ってない」との怒りの声が上がっている。

益城町総合体育館に避難した安倍首相だが、「見映えばかりで被災者に寄り添ってない」との怒りの声が上がっている。

「先手」を繰り返し発言

JCJ会員で昨年8月の第7回口頭弁論で

側に対応に変化が生じているとしても秘密保

橋詰雅博



熊本県益城町の総合体育館で避難者の取材する記者

れる住民の心労は限界に達している。

編集長 EYE

予想されたことだったが、不当判決にガツガツした。「虚しい」と漏らす控訴人もいた。

私を含むフリーのジャーナリストら37人が東京高裁に提起した特定秘密保護法違憲訴訟の控訴審判決が4月26日あり、またしても国側が勝訴した。

秘密保護法違憲控訴審「手抜き」判決文

控訴人が求めた秘密保護法違憲無効確認請求は却下、また、控訴人一人当たり10万円の国家賠償請求は棄却された。控訴審判決は一番と同一結果だったが、一番の判決文が約31ページだったのに対して、今回の小林昭彦裁判長の判決文は実質たった2枚と「手抜き」だった。

小林裁判長を痛烈に批判し、その能力に疑問を投げかけている。

ただし、判決文の中で控訴側にとって目を引く箇所があった。それは「控訴人らの取材活動について、その取材を受ける側の対応に変化が生じているとしても秘密保

意見陳述した黒数哲哉さんは、主宰するウエブサイト「MEDIA KOKUSYO」でこう書いている。「判決文が4枚(実質2枚)しか書けない筆力では、有権者から裁判官の職能に問題がある」と評価されてもやむを得ない。大学のレポート以下。国から「人を裁く特権」を与えられている人のレベルがこれなのだ。(判決文が)実質2枚では困るのだ。」

夫弁護士は「控訴審は一番を追認した判決だ。秘密法が違憲か合憲かの憲法判断に踏み込んでいない。裁判所は権力側の一機関になり下がった。こういう実態を国民に知ってもらいたい。裁判所を変えていかなければ、日本の民主主義はよくならない」と話す。

時の事務局長宮本近志氏の支持とその後少しく好評も得ての継続ができた。多くのそれらの人たちに感謝します。

《お知らせ》 JCJのメールアドレスを変更しました。新アドレスは題字下に表示してあります。(編集部)